

No.	推薦団体	氏名	年齢	性別	市町村名	功績等
1	福島県 テニス協会	うめつ ふみこ 梅津 文子	女	65	福島市	・県女子テニス連盟を発足させ、女子テニスの普及・発展及びジュニアの育成のため30年にわたりリーダーとして県内5地区を取りまとめ活動した。 ・底辺拡大のための講習会の実施、女子が参加しやすい大会を工夫するなど現在の県女子テニス界の発展の基礎を築いた。 ○福島県テニス協会 副会長10年
2	福島県卓球協会	わたなべ よういち 渡部 洋一	男	73	会津若松市	・福島県卓球協会副会長を12年間務め、その間、小中高校生の強化・普及をはじめ、ラージボール界を含む卓球界の発展に尽力された。 ○福島県卓球協会 副会長12年
3	福島県剣道連盟	もちづき としひろ 望月 敏博	男	70	白河市	・白河市を中心とした県南地域で長年にわたり剣道の普及・発展のため尽力するとともに、本県の代表的な剣士として剣道の水準を向上させるばかりでなく、本県剣道連盟の役員として普及・発展に寄与した功績は顕著である。 ・剣道指導を通して青少年の健全育成に取り組み、多くの剣士を育てた。 ○福島県剣道連盟 副会長10年
4	福島県 バスケットボール協会	まつい じゅんいちろう 松井 遵一郎	男	61	会津坂下町	・地区協会会長、県協会副会長を長年務め、現在も精力的に協会運営に携わっている。 ・福島県バスケットボールの普及・発展に対する功績は大きい。 ○福島県バスケットボール協会 副会長18年
5	福島県 ラグビーフットボール協会	えんどう のりあき 遠藤 紀明	男	70	いわき市	・長きにわたり県協会理事長の要職を務め、選手強化をはじめ役員養成等にいたる各種人材の育成に尽力し、現在の協会組織の基礎を築いた。 ・ふくしま国体では、それまでに培った経験と全国に持つ幅広いネットワークを活用し、運営実務の責任者として活躍、地元開催の国体を成功に導いた。 ○福島県ラグビーフットボール協会 理事長19年
6	福島県 ソフトボール協会	ながさわ はつお 長澤 初男	男	64	南相馬市	・長年にわたりソフトボール競技の普及・発展に尽力した功績は誠に多大であり他の模範である。また、被災地の支部長としてソフトボール競技者等組織の充実発展に努めた。 ○福島県ソフトボール協会 副会長3年 理事長3年 副理事長8年2
7	福島県 ウエイトリフティング協会	かんの かずはる 菅野 一治	男	67	伊達市	・長きにわたり県ウエイトリフティング協会の役員として競技力の向上及び役員資質の向上に尽力し、ウエイトリフティング王国福島の復活のため、協会組織の充実と、競技普及・振興に献身的に努めた。 ○福島県ウエイトリフティング協会 会長6年 副会長12年
8	福島県 銃剣道連盟	たていし くめぞう 館石 久盟蔵	男	69	福島市	・昭和63年福島県自衛隊銃剣道部長として隊員の指導にあたり、また一般支部を含む銃・短剣道の普及発展に寄与した。 ・常に会員の増勢をはかり、自ら銃・短剣道を通じ武道精神に努める等、県内の会員人口1,500人に達した。 ・副会長の率先指導により、国体、全日本各種大会等競技力は著しく向上し、成果は全国的に上位にある。 ○福島県銃剣道連盟 副会長1年 副理事長9年
9	福島県 スポーツチャンバラ協会	のだ ごういち 野田 豪一	男	68	福島市	・長年スポーツチャンバラ協会副会長、理事長を歴任。協会の発展、後人の育成に貢献した。 ・平成15年度より三育学園でスポーツチャンバラを授業として取り入れるなど、普及に尽力した。 ○福島県スポーツチャンバラ協会 副会長10年 理事長3年
10	会津地域連合会	すさ しげお 諏佐 茂夫	男	80	金山町	・昭和40年4月より金山町体育指導員に就任し、昭和61年から平成9年3月31日まで委員長を務めながら両沼地区体育指導委員会理事として活躍。平成10年4月からは金山町体育協会会長として、金山町はもとより両沼地区・会津地域のスポーツ振興に尽力された功績は大きい。 ○金山町体育協会 会長14年 理事長10年
11	いわき市体育協会	ふるかわ かねよし 古川 兼良	男	73	いわき市	・長年にわたり、一貫した理念のもと競技スポーツ・生涯スポーツの振興に尽力し、市体育協会副会長の他に市スポーツ推進委員会副会長、市ソフトボール協会副会長、平地区体育協会会長などを務め、ジャンルを問わず数多くのスポーツに携わっている。 ○いわき市体育協会 副会長2年 副理事長8年